

森で考える **ワークショップ** 水×森×エネルギーのこと

www.thinkearth.net/jp/waterplanet/

森から学ぶ二日間の特別授業

2011年8月27日(土) — 28日(日)

静岡県富士宮市栗倉周辺の森と清流と宿泊長屋

8/27(土)

- 9:30 集合 JR東海 身延線 富士宮駅北口
- 10:00 授業 溪流で遊ぶ(自己紹介)
- 13:00 昼食 河原or古民家
- 14:30 授業 古民家(ダイアログ: 森×水のつながり)
- 18:30 風呂 天母の湯(バスで移動)
- 20:00 夜食
- 23:30 就寝



富士山の清流で鯉(カジカ)つかみどり体験!



豊かな自然を堪能したあとは、みんなワイワイのしくダイアログ!



晴れたら富士山を見上げて散歩できるかも!

8/28(日)

- 6:00 朝食 古民家(早朝散歩&サイレントウォーク)
- 8:00 授業 古民家(ダイアログ: 森×エネルギーの可能性)
- 11:30 昼食 富士宮の山林
- 12:00 授業 富士宮の山林(皮むき間伐!)
- 16:30 解散 富士宮駅



間伐材が新たにエネルギーへと生まれ変わる姿は必見!



森の新鮮な空気のなかで、おもしろい皮むき間伐体験!

お疲れさまでした!!
学んだことを伝えてみよう!

*スケジュールは当日の天候等により予告なく変更となる場合があります、予めご了承ください。なお掲載している写真の一部はイメージです。

かつての日本人は、里山を循環的に利用し、奥山には手をつけませんでした。里山の木は木材・エネルギー資源として使い、奥山は原生的な森として保全しました。この森からは水が湧き出し、多様ないきものの命と人間の営みを支えてきました。

しかし、自然とほどよく共生し、身近なところから「水と森とエネルギーの恵み」を受けて暮らしていたのは1950年代まで。近年では遠くのダムの水を使い、海外から輸入した木材やエネルギーを利用する生活へと変わっていきました……。

いま、里山が見直されたり、水を育む森が国内外から注目を集める一方で、日本は世界に誇れるほどの木材備蓄量もあります。じつは、日本が抱えるたくさんの課題も、自分たちが暮らすコミュニティのそばで「水と森とエネルギー」をまかなえるようになると、一気に解決できてしまう！そんなお話を聞きながら、先生や参加者のみなさんと対話していく、二日間のワークショップ授業を実施します。



森から学ぶ4つのポイント

1

天然の浄水場

森はきれいな水を生みだします。森に降る雨は、地面にしみ込むうちに浄化された地下水となります。

2

緑のダム

森はゆっくりと時間をかけて水を流出させるはたらきがあり、洪水や渇水を緩和するはたらきがあります。

3

間伐されずに放置された人工林

放置された人工林では、密集して日光が地面に届かないため、草がはえなくなり、土壌はやせ、動物はエサを失います。

4

間伐材のエネルギー利用

間伐材はエネルギーにも利用できるため、化石燃料の消費を減らすことができ、森の保全にもつながります。

森で教わる3人の先生

大西義治さん

NPO法人森の蘇り 代表

原亮弘さん

おひさま進歩エネルギー株式会社 代表

橋本淳司さん

水ジャーナリスト

持ち物・注意事項

川遊び用 タオル・着替え・半日分の飲料水ほか(マイボトル・リユースボトル歓迎)

宿泊用 ダイアログ用にメモ帳と筆記用具
宿泊用具などは持参ください(かけ流しの銭湯も利用できます)

間伐用 野外活動のできる服装と靴・雨具・軍手・帽子・虫除けスプレーなど
*マイのこぎり歓迎(手持ちがない方はレンタルもあります)

お問い合わせ

みずのがっこう事務局(Think the Earthプロジェクト内) / 担当: 風間・曾我

E-mail: waterplanet@thinktheearth.net

TEL: 03-3464-5221 / FAX: 03-5459-2194

*本授業のお申込方法や詳細内容は「みずのがっこう」公式WEBサイトをご覧ください。

<http://www.thinktheearth.net/jp/waterplanet/>

皮むき間伐とは?

山を手入れする方法として江戸時代から続く間伐手法。林業のプロではなくとも、子どもから大人まで誰でも参加できる、森の再生手段のひとつ。木の表面に切れ目を入れ、幹が水を吸い上げる「皮の部分をもく」ことで、木は自然と立ち枯れし、森に光が入り込みます。水分が抜けて軽くなった木は、容易に運び出すことができ、輸送コストも軽減できる優れた方法です。

